



第264号

2011年(平成23年)1月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 今井 宣子
大臨技ホームページURL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

平成二十三年

年頭所感

社団法人 大阪府臨床検査技師会
会長 今井 宣子



新年あけましておめでとうございます。
会員のみなさまにおかれましては、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また平素より大臨技の活動に対して多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の後半、日臨技の会費納入法の変更に伴い、大臨技のほうも若干の変更を余儀なくされ、皆様には混乱とご迷惑をおかけしました。まづもってお詫び申し上げます。

私も役員は常に「会員がいかなる不利益も被らないこと」を合言葉に議論し努力を重ねてまいりました。その結果、かねてより要望があったにもかかわらず制度上でできなかった大臨技単独会員の制度が可能となりました。そして、それに付随して大臨技単独会員にも賠償保険制度の適用を可能といたしました。

さらに、大臨技単独会員であっても近畿二府五県の技師会が主催する各種事業にも会員扱いで参加できるよう道筋もつけました。

大臨技単独会員は制度として選ぶことは可能ですが、しかし基本原則として大臨技会員は同時に日臨技会員でもあるべきであると考えます。臨床検査技師の職能団体が複数存在し、会員が分散することは大局的にみて臨床検査技師としての力の低下につながることであり、良いことではないからです。臨床検査技師にとって唯一の全国的組織である日臨技の会員数を増やすことこそが臨床検査技師の地位向上につながるのだと信じています。

それに対して、大臨技に求められることは会員の日々の仕事や暮らしに直結した問題でしょう。日常の検査業務における細々とした問題や疑問、あるいは地域に特化したような問題などが主として大臨技の守備範囲になると考えます。日臨技と大臨技とではこのように性格も目的も微妙に異なっています。臨床検査技師であるなら日臨技と大臨技の両方に入会していただきたいと思っています。

もう一つお詫びしなければならないことがあります。それは公益法人化のことで、平成20年3月の予算総会で公益法人への移行が承認され、その後周到な準備期間を経て、予定では平成22年度中には定款変更までこぎつけることになっておりました。しかし、諸般の事情でこれが少し遅れています。不手際につきましては深くお詫び申し上げます。平成23年度中にはお約束どおり公益法人化を達成したいと役員一同心も新たに強く決意したところでございます。みなさま方におかれましてはどうか引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

それに関連してですが、公益法人を目指すということになりますと、今まで以上に公益団体に相応しい事業展開が求められます。これまでも大臨技は公益事業を数多く実践してまいりましたが、平成23年度はもう少し公益事業の比率の増やす必要があります。いくつかの事業の見直し、場合によっては整理や統合なども念頭にいた事業計画案を策定することになりそうです。大臨技の目玉ともいべき学術活動を大きく変更することはありませんが、多少の工夫をお願いすることになるかもしれないことを申し添えておきます。

最後に、昨年末に北・中央・南の各支部メーリングリストが完成したことをここに特記しておきたいと思っています。これにより大臨技からのお知らせなどを速やかに配信することが可能になりました。それだけでなく、各支部内における連絡や会員間のコミュニケーションのための利用ももちろん可能です。大いに有効活用していただけますとありがたいです。

大臨技は今年も会員のみなさまに役立つ活動、喜んでいただける活動を目指しております。
ご要望やご希望、困ったことや疑問に思うこと、何でもけっこうです。
どうぞいつでも遠慮なくお声をおかけくださいますようお願いいたします。

最後になりましたが、みなさま方の益々のご繁栄とご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



平成22年度 大臨技・大放技 合同フォーラム

Theme 痛みにどう立ち向かうか?
—救急現場におけるチーム医療の担い手たち—

教育講演Ⅰ

14:10 ~ 14:50

「内視鏡検査・超音波検査からみた急性腹症」

講師:大阪労災病院 出野 憲由

「検体検査からみた急性腹症」

講師:大阪府立泉州救命救急センター 福田 篤久

教育講演Ⅱ

14:50 ~ 15:30

「救急医療における放射線検査 ～急性腹症を中心に～」

講師:大阪府三島救命救急センター 渡部 敬次

特別講演

15:40 ~ 16:40

「消防法改正による今日の救急医療体制

～泉州医療圏の試みと実績～」

講師:大阪府立泉州救命救急センター 松岡 哲也

連絡先

市立豊中病院 清水 隆之

Email:akane@mub.biglobe.ne.jp

- 日 時 平成23年1月15日(土) 14:00~16:45
(受付 13:30 から)
- 会 場 大阪府医師協同組合本館 8 階
(大阪市営地下鉄 谷町六丁目駅 3 番出口下車)
- 参加費 無料(どなたでもご参加いただけます)
- 定 員 200 名(先着)
- 主 催 社団法人 大阪府臨床検査技師会
社団法人 大阪府放射線技師会
- 後 援 大阪府・大阪市



Information

学術部 臨床化学検査部門 からのお知らせ

「臨床検査における定量分析法の妥当性評価(バリデーション)」

講師:和光純薬工業株式会社 臨床検査薬研究所 谷本 和仁 / 大阪営業所 三浦 由紀子

評価点:専門教科-20点(会員証をお持ちください)

「バリデーション」

耳慣れない言葉ですが、みなさん使われている試薬の性能がどのように保証されていると思われますか?
また自分達でどのように評価していったらいいと思われますか?

少し難しいかもしれませんが、一緒に勉強しましょう。
みなさんふるってご参加ください。

- 日 時 平成23年1月13日(木) 18:30~20:00
- 会 場 大阪市立大学医学部 4 階小講義室 1
- 参加費 会員 700 円、非会員 3,000 円
- 共 催 大正富山医薬品株式会社
- 連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部
石田 繁則
TEL: 06-6645-2215
Email: shigei@msic.med.osaka-cu.ac.jp

Information

学術部 生理検査部門 からのお知らせ

生理検査部門 定期講習会

評価点:専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

今年度最後、1月の定期講習会は肺機能検査(スパイロ)について勉強していきたいと思います。
呼吸器などから息切れなどの時、とりあえずは必ず出てくるスパイロの検査。今回はスパイロの検査の基礎的なことから、検査を行う前の注意点、検査を行っている最中の注意点及び検査終了後の注意点を解りやすく、経験豊富な講師が噛み砕いてお話していただきたいと思います。

日々スパイロの検査で頭を悩ましていらっしゃる方、一応検査はしているが基礎に自信のない方、現在実施している検査が正しいかお悩みの方など、どしどし参加お待ちしております。

Theme 「私のやり方 & 考え方!」
スパイロ検査の基礎とコツ」

講師:滋賀医科大学医学部附属病院 検査部
藤澤 義久

- 日 時 平成23年1月27日(木) 18:30~20:00
- 会 場 大阪医療技術学園専門学校 定員 100 名【座席数】
- 参加費 会員 500 円、非会員 3,000 円
- 連絡先 市立岸和田市民病院 六尾 哲
Email: kch-m620t@kishiwada-hospital.com

病理特別講習会

CTクレジット:取得予定

評価点:専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme

胃の病理組織像

講師:兵庫医科大学医学部医学科病理学(分子病理部門)教授 西上 隆之 先生

今年度の病理特別講習会は、兵庫医科大学 分子病理 教授 西上 隆之 先生をお招きして、『胃の病理組織像について』でご講演いただきます。

胃の悪性腫瘍を中心とした病理組織標本の基本的な見方・考え方を解説していただくとともに、胃癌取り扱い規約の新Group分類における診断のポイントなどをお話いただく予定です。

病理細胞検査に携わっておられる方はもちろん、内視鏡に携わっておられる方で胃の病変に興味のある方など幅広く受講していただける内容ですので、みなさん、ふるってご参加ください。

■日 時 平成23年1月21日(金) 19:00~20:30

■会 場 北野病院 5階 さたのホール

■参加費 会員 500円、非会員 3,000円

■連絡先 南大阪病院 宇津野 美弥子

Email: jako@oct.zaq.ne.jp

JR 大阪環状線天満駅下車

徒歩 7~8分

アクセス

地下鉄堺筋線扇町駅下車 2-A号出入口 徒歩約 5分

地下鉄谷町線中崎町駅下車 1号出入口 徒歩約 5分

微生物検査部門 定期講習会

評価点:専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme

『迅速報告による感染症診断のための臨床貢献
～迅速で幅広い耐性菌検出等の先進的な同定・感受性試験』

講師:国保直営総合病院君津中央病院 検査科 高橋 弘志

新年1回目の微生物検査部門定期講習会は、迅速報告による感染症診断のための臨床貢献をテーマに君津中央病院検査科の高橋弘志先生にご講演をいただくことになりました。

同定・感受性検査の迅速化、敗血症迅速診断など実際の微生物検査室の体制についてお話しいただく予定です。皆様ふるってご参加ください。

■日 時 平成23年1月18日(火) 18:30~20:00

■会 場 大阪医療技術学園専門学校

(〒530-0044 大阪市北区東天満 2-1-30)

■参加費 会員 500円、非会員 3,000円

■共 催 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

■連絡先 (財)大阪府警察協会大阪警察病院 赤木 征宏

Email: akag@oph.gr.jp

一般検査部門 定期講習会

評価点:専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

今回の一般検査部門研修会では「尿沈渣をもう一度考えよう!」というテーマで、東洋紡績株式会社との共催にて開催いたします。

尿細管上皮細胞は尿沈渣中にみられる上皮細胞の中でもよく遭遇する上皮細胞ですが、様々な形態に変化することから、鑑別が難しい細胞でもあります。

今回は「尿沈渣検査法」でもおなじみの平内中央病院の坂牛先生をお招きして、特殊型を含む尿細管上皮細胞の鑑別法を中心に、他の上皮細胞との鑑別点や尿沈渣における重要性についてご講演いただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

■日 時 平成23年2月5日(土) 15:00~17:30

■会 場 大阪医療技術専門学校 2階 大教室

JR 東西線「大阪天満宮駅」、大阪市営地下鉄

「南森町駅」、京阪電鉄「天満橋」駅 下車

■参加費 技師会員(賛助・申請中を含む) 500円

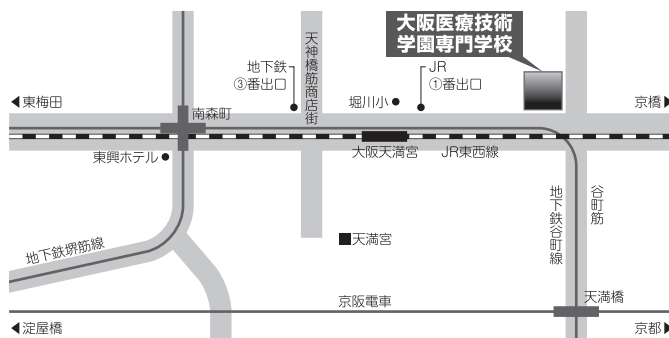
非会員3,000円

■共 催 東洋紡績株式会社

■連絡先 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 堀田 真希

Email: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

内 容

1.「画像分析における最近の尿沈渣自動分析機について」
～U-SCANNER シリーズの紹介～講師:東洋紡績株式会社 システム診断事業部
舩岡 正二郎2.「尿沈渣における上皮細胞をもう一度考えよう!」
～特殊型尿細管上皮細胞とその他上皮細胞の鑑別について～講師:平内町国民健康保険平内中央病院 臨床検査科
坂牛 省二

学術講演会「血液型について《仮題》」

評価点:専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

今回の学術講演会では血液型についてご講演していただきます。
血清学的な話だけでなく、遺伝子学的な内容もお話いただく予定です。
多数の会員の皆様の御参加をお待ちしております。

講師：自治医科大学地域医療学センター長
梶井 英治

- 日 時 平成23年1月22日(土) 14:00~15:30
■ 会 場 大阪医科大学 臨床第I講堂
■ 参加費 会員 500 円、非会員 3,000 円

- **連絡先** 「件名」を「学術講演会問い合わせ」として下記アドレスへ
メール送信又は電話でお問い合わせください。
Email: yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp
T E L : 06-6372-0675
(大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈)

Information

平成22年度 輸血セミナー2011 ご案内

本年度の輸血セミナーは、講演会とシンポジウムの二部構成で開催します。

輸血検査部門では「輸血基礎講座」「輸血基礎実技講習会」等、基本的な輸血検査の知識や検査技術を習得できるような企画を毎年開催しています。しかし、実際の業務で遭遇する検体はそれだけでは太刀打ちできないことも!「さあ、どうする?」

今回のシンポジウムは、皆様からの要望の多い『輸血検査の精査の進め方』というテーマで進めていきます。

また講演会では、血液疾患全般についての講演の後、その治療の一端をになう移植関連についてご講演していただきます。

会員皆様の多数のご参加をお待ちしています。

セミナー内容

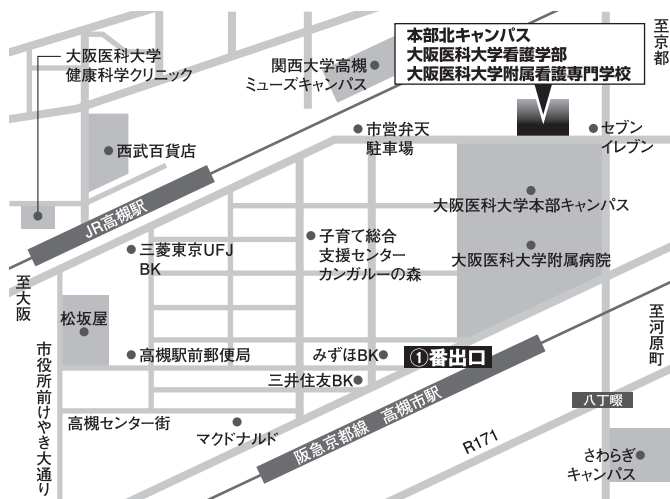
講 演 10:00 ~ 12:00

- 1 血液疾患の概要について(仮題)
講師: 近畿大学医学部奈良病院 椿 和央
- 2 組織適合性抗原と骨髄バンク(仮題)
講師: 大阪府赤十字血液センター
石井 博之

シンポジウム 13:00 ~ 17:00

『輸血検査の精査の進め方』

- 1 ABO、Rh 血液型検査の精査
講師：大阪府赤十字血液センター
木村 恵子
- 2 不規則抗体・複合抗体が疑われる場合
講師：大阪大学医学部附属病院
押田 真知子
- 3 自己抗体保有患者への輸血
講師：関西医科大学校方病院 大西 修司
- 4 総合討論



- 日 時**
 平成23年2月26日（土） 10:00 ～17:00（受付 9:30 ～）
■ 会 場
 大阪医科大学 看護学部看護学講堂
■ 参 加 費
 会員 3,000 円 非会員 10,000 円
■ 問 合 せ
 メール（件名：輸血セミナー問合せ）もしくは電話で
 Email: yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp
 T E L : 06-6372-0675
 （大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈）

予告

第27回 技師長会

Theme 「臨床検査技師の質向上を目指して」

- 日 時** 平成23年2月19日(土) 14:30～17:00
■ 会 場 大阪府臨床検査技師会事務所
■ 参加費 会員 500 円、非会員 3,000 円
■ 募集人数 先着 50 名
 (会場の都合により事前申込をお願いします)
■ 申込先 情報組織部 井戸田 篤 宛
 メールにて下記アドレスへお申込みください。
 Email: idota-at@mc.pref.osaka.jp

内 容

1. 検査部門実態調査報告
講師：大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 安江 智美
2. 講演「目標管理の必要性和意義」
講師：大阪医科大学附属病院 井口 健

チーム医療部門 糖尿病療養指導部会

評価点:専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

第18回 糖尿病療養指導士講演会

予告



糖尿病の診断と治療に対する新たな動き 『今望まれる糖尿病療養指導とは』

講演Ⅰ部

1. 『糖尿病チーム医療への取り組み』

—患者さんに適した療養指導を考える—

講 師：岡崎市民病院 臨床検査室 夏日 久美子

2. 『糖尿病の食事療法に消極的な患者の介入例』

講 師：大阪赤十字病院 栄養管理課 伊藤 大翼

講演Ⅱ部 座長 今井 宣子

『糖尿病の診断と治療に対する新たな動き』

講 師：関西電力病院長 清野 裕

■日 時 平成23年2月27日(月・祝) 13:20~17:00
(12:50より受付)

■会 場 大阪大学中之島センター 10F ホール

■参加費 技師会会員(その他各種職種の学会会員) 500 円
非会員 3,000 円■共 催 (社)大阪府臨床検査技師会 糖尿病療養指導部会
小野薬品工業株式会社

■連絡先 大阪赤十字病院検査部 山下 己紀子

Email: yamashita.osaka.red@apost.plala.or.jp

★本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として

第2群))) 糖尿病療養指導研修 1 単位(認定番号 10-769)あるいは、

第1群))) 自己の医療職研修単位—臨床検査技師— 1 単位どちらか一方で認定申請可能です。

VOICE

臨床検査教育機関からの声

研究室紹介

『予防診断学研究室』では、教授の岩谷良則先生と助教(学部内講師)の渡邊幹夫先生の指導のもと、社会に役立つ研究と独創性の高い研究を目指して、私たち臨床検査技師の大学院生が頑張っています。

研究テーマ

『自己免疫疾患の予後診断学の開発』をテーマとして、代表的な臓器特異的自己免疫疾患である、自己免疫性甲状腺疾患(橋本病・バセドウ病)をモデルに、自己免疫疾患の病因・病態を解明する研究を行っています。甲状腺は、あらゆる臓器の中でもっとも診断・治療法の開発が進んでいる臓器で、自己免疫疾患の有病率が高く、標的臓器も解析し易いという利点があります。現在は、遺伝子多型やエピジェネティクス、フローサイトメーターによる発現解析、甲状腺濾胞の3D培養などの手法を用いて日々研究を進めています。

大学院生の日常

岩谷研では、毎週月曜日に検査データから病態を的確に把握するための症例検討会を行い、さらに、毎週土曜日には自分の研究に関する論文を紹介する抄読会があり、月に1度のペースで回ってきます。この抄読会で他の大学院生の研究内容もよく理解できるようになります。その他、適宜リサーチミーティングで実験の問題点や結果について議論します。



基本的に大学院生はそれぞれ独立したテーマで実験を行っていますが、特別研究生として研究室に配属されてくる学部4年生に実験技術や原理を教え、卒業研究のサポートをするなど、チームワークや縦のつながりも大切にしています。

博士前期課程においては、2年間の研究成果を関連の学会で発表し、国際学術雑誌に投稿します。そして修士論文は、かならず英語でまとめて提出することが義務付けられています。

もちろん生活のため、遊ぶために様々なアルバイトもしています。採血や生理検査、脳波の夜勤などの病院での検査業務や専門学校の講師など、臨床検査技師の資格や知識が生かせるアルバイトをする人が多いです。

先生方は2人ともとても気さくな方で、研究指導も懇切丁寧にしてくださいますし、研究以外にも様々なことを教えていただいてとても感謝しています。そんな先生方のもと、やる時はやるけど休む時はしっかり休む、とメリハリのある研究室生活を送り、いつも新鮮な気持ちで研究に臨むことができます。

大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体情報科学講座 予防診断学研究室
博士前期課程2年 森田 麻美

大臨技事務局より 平成23年度 会費納入のお願い



平成23年度より日臨技とは **別納方式** の扱いとなっております。

所定の「郵便振込用紙」をご使用ください。(12月号送付時同封)

1.	大臨技「継続会員」納入金額
	大臨技年会費 5,000円
2.	大臨技「新入会」および「再入会」納入金額
	大臨技新入会費・再入会費 2,000円
	大臨技年会費 5,000円
	計 7,000円



「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」
に加入される方は
ニュース12月号または大臨技ホームページ
をご参照ください。



★注意 「大臨技会員証」の送付時期について

11月号の大臨技ニュースでお知らせしましたとおり
平成23年度より、大臨技会員の皆様に「大臨技会員証」を発行いたします。
平成23年3月31日までに平成23年度大臨技年会費を納入された方には
平成23年4月末までに「平成23年度大臨技会員証」を送付いたします。

なお、平成23年4月以降に平成23年度大臨技年会費を納入された方につきましては、
会員証作成の都合上、「平成23年度大臨技会員証」の送付が大幅に遅れますのでご注意ください。

平成22年度 施設連絡者会

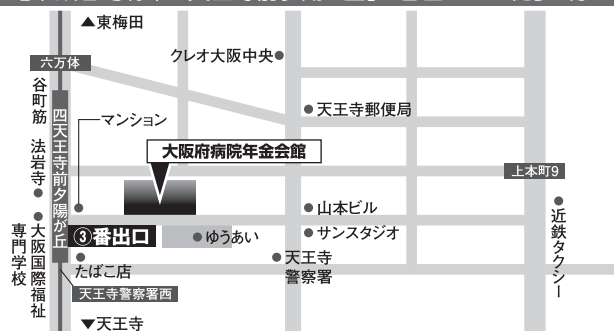
評価点:基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

当会の現状について「来年度の技師会どうなるの?」というご不安をお持ちの方もいるかと存じますが
今回の施設連絡者会では、当会の活動意義を今一度皆様にご理解いただけるよう、来年度予定新事業と、今後の活動方針や大臨技・日臨技の入会方法、賠償責任保険等についての案内をテーマに技師会報告をさせていただきます。

また、昨今の予防医療の中で注目されております『ワクチンについて』の特別講演も行います。
毎年ワクチンを接種されている方も多く、検査技師としてもぜひ知っておきたい内容だと思っております。
当日参加できない施設連絡者の方はできるかぎり他の会員の代理出席をお願いします。
もちろん施設連絡者でない方、MRの方々の参加も可能です。

- 日 時 平成23年1月22日(土) 14:30~17:00
- 会 場 病院年金会館 地下1階コンベンションルーム
大阪市天王寺区六万休町4番11号
TEL: 06-6776-1600
- 参加費 無料 ■ 定 員 200名
- 連絡先 育和会記念病院 田畑 泰弘
TEL: 06-6758-8000

地下鉄谷町線「四天王寺前」徒歩1分



【内容】

総合司会 地区事業部 田畑 泰弘

14:30 ~ 15:30 『開会の挨拶』

大阪府臨床検査技師会 会長 今井 宣子

『技師会報告1』

講師: 大阪府立中河内救命救急センター

津田 喜裕

『技師会報告2』

講師: 大阪府臨床検査技師会 副会長

運天 政五郎

15:30 ~ 17:00 特別講演

司会: 大阪府臨床検査技師会 副会長

竹浦 久司

『インフルエンザワクチンを中心とした

本邦での予防接種の現状』

講師: 一般財団法人 阪大微生物病研究会

学術部学術課 青木 秀訓

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX: 06-6763-5653 E-mail: imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成23年2月号の原稿メ切は平成23年1月5日(水)、3月号は2月4日(金)です。